

2019年8月24日 ~ 2019年8月30日

2019年9月3日

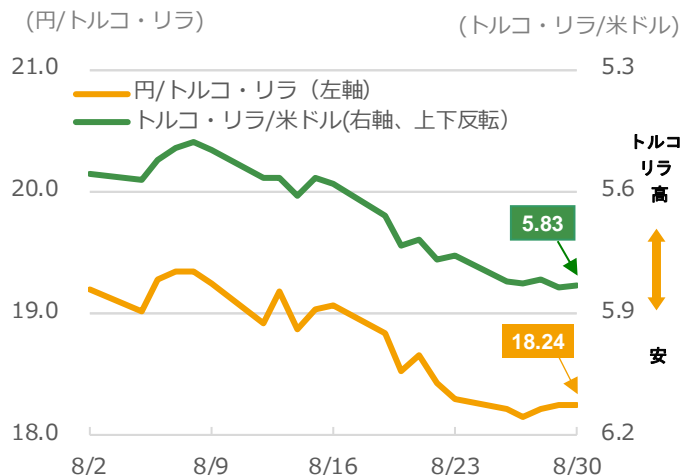
先週の回顧

先週のトルコ・リラ相場は対米ドル・対円ともに下落しました。トルコの2年国債金利は上昇しました。

先週は、クルド系3市長の解任をきっかけとして、エルドアン大統領がイスタンブール市長をも同様に解任させるのではないかとの思惑が浮上したことから、トルコ・リラは週初に急激に売られました。しかしその後急速に戻し、ほぼ急落前の水準に戻りました。一週間を通して見ると対米ドル・対円ともに小幅な下落となりました。国債金利は小幅に上昇しました。

トルコ・リラ 為替推移

(2019年8月2日~2019年8月30日)



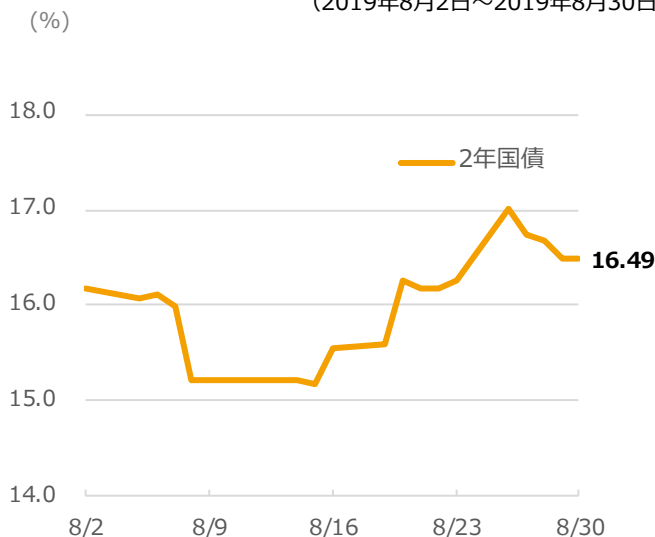
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

今週の見通し

国外では依然として米中貿易摩擦の行方が注目されています。一方で、海外勢の夏季休暇終了にともない多くの市場参加者が戻ってくることも期待されます。トルコ国内では、8月のCPI（消費者物価指数）が発表される予定です。インフレ率の鈍化を確認し、次週のトルコ中央銀行の金融政策決定会合に向けて、政策金利予想にどのように織り込まれていくかに注目したいと考えています。また、クルド系住民との緊張激化や民主主義への政治介入に対する国内の反発にも留意すべきだと考えています。

トルコ 金利推移

(2019年8月2日~2019年8月30日)



(出所) Bloomberg等より大和投資信託作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。